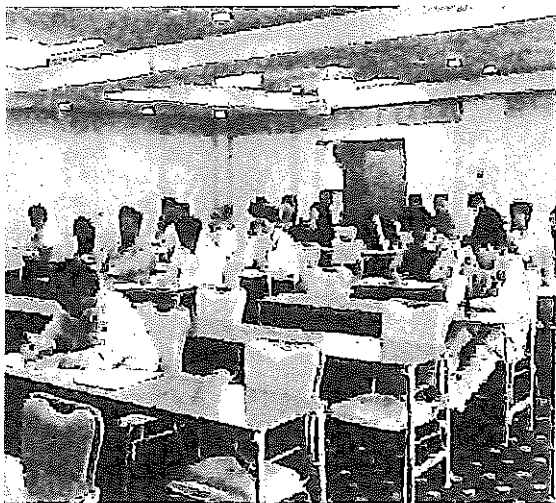


地域ニュース

省エネ型大型 処理槽で説明会

県浄化槽協会

高知県浄化槽協会(川崎義弘会長)は6月22日、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業)の説明会を



開き、官庁や浄化槽管理・工事業者から34人が参加した(写真)。

この補助金制度は環境省が2017年度から始め、同協会の上部団体である全国浄化槽団体連合会が執行する。集合住宅、病院、福祉施設などにある101人槽以上の既設合併処理浄化槽の省エネ改修費の半額を補助し、

温室効果ガスの排出制限に寄与、大型合併処理浄化槽の長寿命化を図る。

当日は、全浄連の昇天文浄化槽推進部長が、事業の概要や、交付申請に必要な書類の記入方法などについて説明した。

川崎会長は「国の補助金制度を有効活用し、高知県の環境保全に努めてほしい」と話していた。